

堺市子ども読書活動推進計画(改定案)についてのご意見の要旨と本市の考え方

	ご意見の要旨	市の考え方
○全体について		
1	計画の実現にむけて現状を図式にし、推進計画における指標の各年と5年後の目標を明確にすること。5年間の指標をきっちりともち、予算獲得も含めて真剣に取り組んでもらいたい。	今回の計画改定にあたり、子ども読書活動推進への取組を受け手の側から整理し、指標を設けました。各取組の推進状況や指標の目標値の達成度は、堺市子ども読書活動推進会議において毎年度検証し、具体的な取組の見直しを図りながら、事業を進めてまいります。
○第2章 1. 家庭における読書活動 について		
2	12 頁、(1) 乳幼児への取組について、計画の実現のために計画における指標を示すこと。	今回の計画改定にあたり、子ども読書活動推進への取組を、受け手の側から整理し、指標を設けました。乳幼児への取組についても、子どもへの働きかけ、保護者への働きかけ、環境の整備、推進体制の強化に分けて、第3章でお示ししています。
○第2章 2. 地域および市立図書館における読書活動 について		
3	13 頁、(1) 図書館資料の整備と充実において、団体貸出用資料について、「さらなる充実を図っていきます。」という記述の「さらなる充実」を具体化して書いてもらいたい。	13 頁、(1) 図書館資料の整備と充実の(今後の取組)に④として、次の一文を追加します。 ④ 家庭・地域文庫の多様化や、学校園の変化に対応するための、連携の推進と、ニーズの把握に基づく団体貸出用資料の収集と更新。
4	15 頁、(5) 地域における読書啓発は、とても大切。具体的にしてもらいたい。	乳幼児期からの読書活動の推進にとって、身近な地域での読書環境の整備や保護者への啓発は大変重要だと考えています。関連機関・部局の連携とボランティアとの協働により、きめの細かい取組を図っていきます。

**堺市子ども読書活動推進計画(改定案)について
ご意見の要旨と本市の考え方**

○第2章 3. 学校等における読書活動 について		
5	<p>15 頁、(1) 認定こども園・保育所（園）・幼稚園・児童発達支援センター等について、就学前の子どもたちの読書環境は、とても大切。各園・施設についても蔵書基準を決めて、指標をたてて計画してもらいたい。</p>	<p>認定こども園・保育所（園）・幼稚園等、就学前教育・保育施設におきましては、子どもが絵本に興味を持ち、大きくなっても本が好きで読書活動が続けることができるような取り組みをしています。</p> <p>園によって、工夫は様々ですが、日々の教育・保育の中に絵本の読み聞かせを入れることはもちろん、子どもたちがいつでも絵本に触れることができるような絵本コーナーを設置しています。絵本コーナーには、子どもの年齢にふさわしい絵本を配架することと、子どもの興味に添って種類別に配架するなどの工夫もしています。また、子どもだけでなく保護者にも絵本の楽しさ、大事さを啓発するために親子での絵本貸し出しをしている園もあります。</p> <p>今後も各園において子どもにとってふさわしい読書環境を整えるよう、努めてまいります。</p>
○第3章 取組内容と指標 について		
6	<p>次世代を担う子ども達に、もっと絵本の読み聞かせの機会を与えて欲しい。まだまだ回数が不足している。図書館職員を派遣する為の人的な費用も多く取り、啓蒙の輪を広げることを望む。</p>	<p>子どもへの絵本の読み聞かせは、大変重要だと考えています。現在読み聞かせは、市立図書館や学校園をはじめ、様々な場で行っておりますが、子どもに身近な地域での一層の充実のため、読み聞かせを担うボランティアへの支援や、子育て関連機関との連携を進めてまいります。</p>
○学校司書の配置について		
7	<p>小・中学校全校への専任学校司書の配置を望む。</p>	<p>「いつでも開いている、人がいる」学校図書館の実現に向け、学校図書館を支援する人材の確保に努め、学校図書館整備等5か年計画や、国の動向等をふまえながら、学校司書配置を検討してまいります。</p>

**堺市子ども読書活動推進計画(改定案)について
ご意見の要旨と本市の考え方**

○学校図書館サポーターの仕事環境について		
8	図書館サポーターは謝礼も安く、仕事時間も不足している。1日(1回)3時間の設定はどうか。	図書館サポーターの方には、読み聞かせ等を行うことで児童・生徒が読書を好きになるよう、いつもご尽力いただいております。謝礼や活用時間につきましては、「堺・スクールサポーター活用事業実施要項」の規定に基づいて行っております。
○学校図書館の環境整備について		
9	全小中学校図書館蔵書のデータベース化を5か年の中で具体化することを望む。また、学校図書館間、公立図書館等とのネットワークの確立を望む。	教育委員会としては、まず、学校図書館教育を支援する人材確保に努めているところです。今後も市立図書館と連携し、選書支援、調べ学習等の団体貸出などを行ってまいります。
10	学校図書館の蔵書を点検し、授業で使えない資料は廃棄すべき。	図書の廃棄におきましては、全国学校図書館協議会による「学校図書館図書廃棄基準」を参考にしながら、情報が古くなった図書、破損や汚れのある本などを対象とし、廃棄を行っております。児童生徒にとって興味がわき、手に取って読みたくなるような最新の図書を配架するよう努めているところです。
○人材の育成、研修などについて		
11	すべての児童が平等に利用できる学校図書館にこそ優れた人材が必要であり、若い人材の育成を図るべき。学校図書館サポーターにも差があり、事前にきちんとした研修を望む。現在の研修が、現場の課題や悩みに応えるものになっているのか見直し、学校職員と学校図書館スタッフが同じところに根ざし、同じところに向かおうとする研修や働きかけが必要。	これまでも、司書教諭研修、学校司書研修、学校図書館サポーター研修等で、スキルアップや情報共有ができる場を設けてまいりました。今後も一層、教育現場の課題等に沿った研修内容の充実を図り、人材育成に努めてまいります。
○学校図書館全般について		
12	学校図書館の充実は、子どもたちの学びを広げる学校づくりにつながり、こどもたちの生きる力になる。目に見えてすぐに結果は出ないが、時間がかかっても大切なことを丁寧に積み重ねていく取組を望む。	今後も、子どもたちの豊かな心や人間性、教養、想像力等を育むため、読書センター機能、学習センター機能、情報センター機能を構築し、学校図書館の充実を図ってまいります。

**堺市子ども読書活動推進計画(改定案)について
ご意見の要旨と本市の考え方**

13	<p>「図書館とは何か」「学校図書館とは何か」という共通の理解を深める必要がある。学校司書、学校図書館サポーター、教諭、生徒の声を吸い上げ、学校職員全体で考えることが必要。特に校長、教頭に考えてもらう機会を設けることを望む。</p>	<p>学校図書館の利活用を進めるため、巡回訪問や学校図書館活用計画書や報告書作成等において、学校長ならびに教職員も関わり共通理解を深めているところです。今後も、更に学校図書館関係者の連携の強化を図ってまいります。</p>
<p>○参考資料「乳幼児期における家庭での読書環境に関するアンケート」集計結果（※資料1）について</p>		
14	<p>25 頁、5. 調査票の回収枚数の内訳において、区によって調査票の回収率にずいぶん差がある。働きかけ方に工夫が必要ではないか。</p>	<p>「乳幼児期における家庭での読書環境に関するアンケート」は、各保健センターで実施している、1歳6カ月児健康診査、3歳児健康診査時に、保護者に対して対面で行いました。アンケートの実施環境等は保健センターによって違いがあり、それが回収率の差となってあらわれたもので、各区の子ども読書活動推進の取組みが反映されたものではないと考えております。</p>